

—— 読者アンケート結果より —— どうかが難しい？ 授業研究

小誌が行った読者アンケートでは、校内授業研究についていくつかの課題があることが明らかになった。今号では、授業研究が日々の授業力向上につながるがっている4つの実践を紹介。
 授業研究のねらいや、取り組み方は異なるものの、そこには共通するエッセンスが感じられる。

課 題

研究テーマを共有するのが難しい

「テーマが具体的でなく、**目的を共有できていない**」

「みんなが納得するテーマではないため、**当事者意識が高まらない**」

意見を言い、話し合える雰囲気がない

「教師同士が**気を遣いすぎ**、核心をつくような話し合いにならない」

「**若手教師が発言しにくい**」

研究の成果を実感できない

「前の授業研究が生かしきれず、実践として**積み上げられない**」

「研究が形式的になり、子どもの**力の伸びに結び付いていない**」

環境が整っていない

「忙しくて、**研究に割ける時間が少ない**」

「研究を**主導できる教師がない**」

「**参観者の学級を自習にする時の対応等**、体制づくりが難しい」

教師が主体的に 取り組めていない

「教師が『**やらされている**』と感じていることが多い」

「『**自分の力を向上させる**』という意識になりにくい」

つづけたくなる授業研究

解決のヒント

事例 1

山形県天童市立高掬小学校
たかだま

特徴

- 校内研究を学校づくりの柱とし、
日常と一体化して
研究を進める
- 事前・事後研究会で、
「自分の授業」として
語り合う

P.6

事例 2

高知県高知市立介良潮見台小学校
けらしらみだい

特徴

- 指導案や授業観察の
方法を工夫し、
授業の改善点を明確にする
- 三つの研究部会で、**全員で**
子どもを多角的に見取る

P.11

研究テーマを教師全員で共有

話し合える雰囲気づくりを推進

成果を実感し、日常の授業に結び付ける

教師が主体的に取り組む
「つづけたくなる」授業研究に

事例 3

北海道倶知安町立西小学校榊山分校、
ニセコ町立近藤小学校
くつちやん

特徴

- 小規模校同士で
継続的に連携、
研究の視点を広げる
- 普段の授業を見せ合い、
日常の授業の改善に結び付ける

P.16

事例 4

和歌山県有田川町立藤並小学校、
有田川町教育委員会

特徴

- 日々の授業を
大切にすることを
授業改善の中心に据える
- 校長のリーダーシップと
教師の自主性の両輪で
進める

P.21